

大安寺報

成道会に寄せて

十二月八日は、お釈迦さまがお悟りを開かれた日と言われています。当寺をはじめ、曹洞宗の多くのお寺では、お釈迦さまに報恩感謝するために、「成道会」の法要を営みます。

では、お釈迦さまがお悟りになられた内容とは、一体何だったのでしょうか？多くの經典によれば、それは「縁起」の理法であると言われています。「縁起」とは、「この世界の一切の現象は、相互に関わり合って生起している」という考え方。さらに詳しく言えば、「因縁生起」と言い、「因」(直接的原因)と「縁」(外的条件)により、結果が生じるということです。植物の芽生えで例えてみれば、種は「因」、土・水・温度は、「縁」となります。

この「縁起」を、私たちに引き付けて考えてみましょう。私たちの「いのち」は、そもそも「両親」という「因」から生まれ、沢山の人たちの支えや、大自然の恵みといった「縁」によって結実したものです。それらの「因」や「縁」のどれかが欠けていたら、全く異なった人生を送っていたはずですが、だからこそ、私たちを支えてくれているかけがえのない縁の全てに感謝の念を覚えるのは、至極自然なこと

のように思えます。

しかしながら、文明化された現代社会においては、他者と関わらずに、また、自然の恩恵に思いを致さずとも生活が可能です。そのような中、先の大震災は、私たちに大きな教訓を残しました。それは「人とのつながり」の大切さ、そして、「大自然の中で生かされているという厳然たる事実」です。それらは、「有って当たり前」ではなく、「有るのは困難」、つまり「有り難い(ありがたい)」ものだったのです。そもそも、お釈迦さまのお悟りなくして、私たちは「仏さまの教え」に出逢うことができませんでした。「修証義第一章・総序」の中に、「人身得ること難し、仏法値(お)うこと希なり」という一節があるように、得難い人間の身を得て、仏法に出逢えたことに感謝したいものです。いわば、仏教の誕生日である「成道会」を、共に大切にして参りましょう。

感謝



当寺「野の庵」のお地蔵さま

※岩手県山田町の龍昌寺さまからお譲りいただきました。

仏事

Q & A

第九回

Q. 通夜の意味と、その流れは？

A. 当寺において執り行っている通夜は、亡き方のご遺族や、親しかった方々のご遺体(ご遺骨)に寄り添って別れを惜しむと同時に、亡き方を仏弟子とする儀式です。

〈通夜の流れ〉

一、剃髪

※授戒に先立つ、出家剃髪の式です。剃髪の偈をお唱えいたします。

二、授戒

※仏弟子として守るべき戒を授けます。

・懺悔の偈

※この世での小罪を懺悔します。

・三歸戒

※仏・法・僧(僧團)に帰依します。

・三聚淨戒

※悪を造らず、生死に執着せず、衆生のために尽くすことを誓います。

・十重禁戒

※「不殺生戒」や「不妄語戒」など、十の戒を授けます。

三、血脈授与

※血脈とは、お釈迦さまから亡き方に至るまでの法の系図です。

四、通夜調経(修証義・妙法蓮華經 如来寿量品偈など)

五、通夜説教

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daijanji.jp>



携帯サイト QR コード

■Twitter

@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏(なむしゃかむにぶつ)